

ニコニコ(●^。^●)ボックス

- 15年100%祝 …戸塚君
- 5年100%祝 …谷中君
- 5年100%祝 …塚越君
- 奥様お誕生祝 …影山君 矢島君
- ご結婚祝 …守屋君 福本君
平岩君 矢島君
- 戸塚会長 張替幹事…本日は24節季の寒露です。朝晩は冷え込むようになって参りました。皆様お風邪を召されない様お気を付け下さい。富士ゼロックス東京株式会社執行役員の五十嵐様、本日の卓話宜しくお願ひ致します。谷中職業奉仕委員長、本日の職場訪問宜しくお願ひ致します。
- 矢島君…10月13日は結婚50周年の金婚式を迎えます。良く我慢したのはどちらでしょう？
- 田中(清)君…平岩さんにネームプレートを取っていただいて、谷茂岡さんに出席印を押していただいてしまったのでニコニコを！！
- 吉田君 谷茂岡君…めっきり涼しくなりました。季節の変わり目です。ご自愛ください。

合計 50,000円 累計 831,000円

卓話



10月8日の卓話は、富士ゼロックス東京(株)執行役員 五十嵐 幸夫氏より「ゼロックスのCS活動について」という演題でお話しをいただきました。紹介者 今井君



本日の卓話

「ロータリー米山記念奨学事業とその成果」
メンバー／米山奨学会
岩邊 俊久君

R 財団補助金プロジェクト面談

2016-17 年度ロータリー財団補助金プロジェクトのクラブ面談日が決定しました。面談日は11月30日(月)14時からガバナー事務所において1クラブ15分ほどで行われます。クラブからは代表者として谷茂岡副幹事が出席します。

米山奨学生マライケさん 10月来会

10月8日、米山奨学生マライケさんが10月来会しました。現在、日本語の試験を受ける為に勉強中との事です。マライケさんは10月13日(火)に東京江東ロータリークラブで米山月間で卓話をします。演題は、「人と海～私達は協和、共存できるのか?～」、研究課題である鮫についてお話をされます。また10月25日はロータリー米山奨学生学友会主催の「2015年度ピクニック(新宿御苑)」に出席されます。10時30分に大木門に集合し、自由散策、スポーツ、ゲームなど東京都内ロータリアン、現役奨学生、学友との親睦交流の為、恒例の秋季行事となっています。

米山月間／卓話招聘

10月は米山月間で、米山奨学会事務局のお役目で岩邊君が、東京東江戸川ロータリークラブで卓話をされたお写真が届きましたのでご紹介いたします。



グローバルフェスタ 2015

10/3～4開催のグローバルフェスタ 2015に地区米山奨学委員として参加してきました。幸い天候に恵まれ大変盛大でした。また多くのロータリークラブにたいする「生の声」を聞くことができました。



ベルマン地区米山委員

次回予定 10/22

メーデー！メーデー！「航空機事故の体験について」
メンバー
谷中 義雄君

WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30～13:30
例会場 上野精養軒 TEL.03(3821)2181
事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5Aビル6F
TEL.03(5637)4602 FAX.03(5637)4611
http://www.tokyo-kohoku-rc.org

東京江北ロータリークラブ

会長 戸塚 誠一郎 / 会長エレクト 吉田 正行
幹事 張替 俊光 / 副幹事 谷茂岡 昭
会報・IT委員長 羅山 能弘



Rotary

RI 会長
ラビンドラン

Be a gift to the World

ロータリー
思いをかたちに

東京江北RC 会長
戸塚 誠一郎

第2707回 2015年10月15日

2015年10月8日 第2706回例会報告

点 鐘

ロータリーソング 「我らの生業」

来 賓

- ゲスト3名
五十嵐幸夫氏 (ゲストスピーカー)
深澤陽平氏 (ゲストスピーカー同行者)
ドンヘゲ マライケさん (米山奨学生)

セ レ モ ニ ー

- 米山奨学金授与 (10月分)
…ドンヘゲ マライケさん

会 長 報 告

- 本日は、職場訪問があります。谷中職業奉仕委員長ご尽力頂き、ありがとうございます。
- 来年度ウォールナットクリークRCとの夏期交換学生事業が50年を迎えます。50年を記念してミーティングを行いたい旨の申し出がウォールナットクリークRCより届いております。先週の理事会にて検討委員会を設置し委員長に佐藤徹副会長、先方との交渉窓口には伊藤さんが決定致しました。まだ、何も決定していない状態ですので何か進捗がありましたらご報告させていただきます。
- ウォールナットクリークRCのメンデス氏が60年100%を達成された旨、50周年記念ミーティングのやり取りの中で報

告を頂いた旨、皆様にもご報告させていただきます。

幹 事 報 告

- 理事会議事録をポストの方に配布させて頂いておりますのでご一読下さい。
- 本日例会終了後、職場訪問に参加される皆様は午後1時50分に1階ロビーにお集まりください。
- 10月14日、東分区懇親ゴルフ大会が開催され、スタート表が届いております。参加者は戸塚会長、海老沼ゴルフ親睦幹事、鈴木寿郎さん、矢島さん、船木さん、小林さん、谷中さん、塚越さん、畠山さん、今井さん、影山さん、高橋さんの12名です。尚、大会内にて東京江北RCコンペ内コンペを開催致します。

幹 事 報 告

- SAA…本日より国際プロトコールに合わせ国旗をポールにて掲揚させて頂いております。
- 米山カウンセラー…次週10月13日に東京江東RCにて米山奨学生のマライケさんが卓話を行います。会場はホテルイースト21になります。メイクアップにもなりますのでお時間のあります方は応援に行ってくださいと幸いです。

出 席 報 告 会員56名中37名 出席率66%

前々回訂正出席率 91.67% (9/17)

THE ROTARY CLUB OF TOKYO-KOHOKU

東京江北ロータリークラブ職業奉仕委員会
職場訪問“アサヒビール 茨城工場”



10月8日(木)例会終了後に職業奉仕委員会主催でアサヒビール茨城工場へ職場訪問に出掛けました。

アサヒビールは、1987年に発売したアサヒスーパードライの登場で日本のビール市場にドライビールというジャンルが定着し、日本のビール業界で発生したドライ戦争の引き金になったことは有名です。ビールの主な原料は大麦で、特有な香りや苦味、泡立ちに必要なホップ、水はミネラル質の量と割合が重要だそうです。試食した大麦は噛んでいると味があり美味しいものですが、ホップは手に残るほどの臭い葉でした。

ビールをおいしく楽しむコツは、グラスは綺麗に洗い自然乾燥、適度に冷やす。空気に触れると酸化するので泡を蓋にグラスを傾けて注ぐ。ビールの鮮度は時間と共に失われるので賞味期限内でも早めに飲むのがおススメ！と説明いただきました。またアサヒビールは社会貢献として地域に根差した社会との共生を図りながら、多様化する社会(地球)環境の問題解決の一助として継続的なボランティアの参加促進、社会的責任としての環境活動「自然の恵み」を育んだ地球に感謝し、地球をより健全な状態で次世代に引き継いでいくCO2を減らす活動、循環型社会の構築、副産物・廃棄物再資源化100%活動などにも取り組み、工場内には複数の箱が並んでいましたが全て再利用する資源としてのリサイクルボックスでゴミ箱は1つも置かない環境ビジョンとしての取り組みも徹底されていました。



VIP ルームにて試飲会

アサヒビール工場見学終了後、武家屋敷を彷彿とさせる門構え、荘厳な阿吽の像の間を抜けると古都を訪れたかのような、情緒溢れる枯山水の庭園が広がる「つくば山水亭」で懇親会を行いました。



戸塚会長のご挨拶、佐藤保壽さんによる乾杯の発声で和やかで楽しい懇親会と成りました。戸塚会長より金一封とお土産にレンコンサブレを頂戴いたしました。ありがとうございました。



職場訪問ご参加の皆様

ご多用中のところ職場訪問にご参加いただきましてありがとうございました。

不慣れな為、行き届かない事が多々有りましたが、ロータリーの友情に免じてご容赦ください。

職業奉仕委員会として、今後も会員の皆様のお役に立てる活動を目指して参りますので、どうかご指導のほどよろしくお願い致します。

職業奉仕委員長 谷中義雄

例会場 国旗掲揚方法の変更
国際礼儀 (プロトコール)

東京江北ロータリークラブ例会場の国旗掲揚方法を国際プロトコールに合わせて、本日の例会より変更しました。

外務省ホームページより
～ 伝統的な国家間のマナー ～

外国政府要人の来日や国際会議の開催など、海外からのお客様を日本に迎える際には、「プロトコール」と呼ばれる国際的な基本儀礼、マナーに基づいた接遇を行っています。こうした「プロトコール」は、政府が行う外交活動のみならず、国際交流の様々な場面での基本的なマナーであるとも言えます。今回は、この「プロトコール」についてご紹介します。

国際儀礼 (プロトコール) とは

国際的な交流の場面では、歴史、文化、言語などの違いから、誤解や不信が生まれやすくなります。相手への敬意と全ての国を平等に扱うことを基本とする「プロトコール」は、無用な誤解や争いを避け、外交を円滑に進める環境作りのための知恵として生まれました。国と国、人と人の営みをスムーズにする、その場にいる人々がお互いを認め合い、心地良いコミュニケーションを図るための共通認識が、プロトコールなのです。但し、プロトコールは必ずしも絶対的な規則ではなく、これまでも時代とともに変化しており、地域や国によって差異もみられます。また、会合の趣旨、参加者の認識、会場の制約などによって柔軟に運用されることも大切です。

国旗の掲揚

国旗は国の象徴であり、国旗に敬意を表することは国際社会の基本的なマナーです。そこで、外国からのお客様を迎える際など、自国の旗と外国旗のどちらをどこに掲げればよいか問題となります。そのため、国旗の掲揚についてもプロトコールが存在します。基本は、原則として「右上位」です。日本で賓客をお迎えして両国の国旗を掲揚する場合、日本ではお迎えした相手国の旗を上位と捉えるため、通常右(向かって左)に外国国旗、左(向かって右)に日本国旗を掲揚します。ただし会場の上下座の位置や、プレスの撮影の際のカメラ位置によって、配置が変更される場合もあります。また、国旗を掲揚する際には、「日本国旗と外国国旗を同時に掲げる場合は国旗の大きさとポールの高さを同一にする」、「国の象徴である国旗と県や市など団体の旗とは格が異なるため併揚せず、どうしても併揚が必要な場合は、国旗は団体旗より大きく、高い位置で掲揚する」などのルールがあります。また、国賓、公賓、公式実務訪問賓客の来日の際には、内閣総理大臣官邸、霞ヶ関に街路旗が掲げられます。国葬又は国葬に準ずる葬儀が行われる場合や、外国元首の逝去等の場合には、半旗又は弔旗を掲揚することがあります。半旗とは、旗を一旦ポールの最上部まで上げてから、少し下げたもの、弔旗とは、ポールの最上部を黒布で巻き、最上部と旗との間に、旗の横幅と同じ長さで、縦3センチほどの黒布を取り付けたものです。

鈴木喬ガバナー便り No.12

今年度から、10月は「経済と地域社会の発展 月間」となりました。ロータリーの重点分野6つの内の一つですが、世界銀行キム総裁により「この25年で世界の最貧困層は半減したが、今なお1日1.25ドル未満で生活している人が10億人おり、例えば銀行口座を持っていない人が25億人、電気のない生活を余儀なくされる人が14億人も存在する。」とのこと。世界には、まだまだ支援を必要とする多くの人々がいるのです。ロータリーでは、このような貧困層の人々に、未永い発展をもたらす活動を支援すべく、この分野で「経済発展を促すための人々のスキル向上」「仕事の創出」「貧困の削減」「経済と地域社会の発展に関連する奨学金の提供」という4つの目的と目標を定めています。日本や世界の各クラブでは様々な活動を行っております。当地区でも、クラブ内のこの分野についての関心をさらに高め、「経済と地域社会の発展」について熟慮し、支援活動の強化に繋げて頂きたいと思っております。また今月は「米山月間」でもあります。周知のように米山記念奨学金制度は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間最大級の奨学金制度です。本年は、財団法人化されて48年目を迎えますが、いままでに累計18,700名余の卒業生を送り出しました。当地区では、2015学年度の米山奨学生は34名ですが、2016学年度は40名を迎えようとしています。その割り当て人数に増減が生じるのは、前年度の地区寄付金の額に比例して決められるためです。私事ですが、2003年(財)米山梅吉記念館新館落成5周年記念式典に参加の折に、米山家遺族代表としてスピーチなされた米山むつき様が、米山梅吉翁のご三男米山桂三氏の末亡人でありました。そのお話を拝聴して、桂三氏が私の大学の恩師であることがわかり、爾来私は米山奨学事業に傾倒している次第です。米山学友は、世界で活躍している人も多く、世界と日本とを繋ぐ懸け橋として活躍しております。どうぞ引き続きロータリアン各位のご支援をお願い申し上げます。 ガバナー月信10月号



全国の地区大会に出席

第2510(北海道西部)地区大会に出席しました。東京葛飾中央RCの友好クラブで、長万部RCの皆様と柴又真さんのタオルを手に記念写真です。ガバナーは日本全国34地区の地区大会へ奥様と手分けしてお出かけになっています。